

食品安全関係情報(11月1日 ~11月14日 収集分※)について

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

(集計数は、今回/前回)

11月1日 ~11月14日 (前回10月18日 ~10月31日)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
収集件数 (合計70/89件)		WHO・FAO等 (4/3件)	米国 (4/1件)	カナダ (1/3件)	EU、EFSA (12/23件)	各国 (21/25件)	FSANZ等 (1/2件)	中国 (5/12件)	各国 (7/7件)	各国 (0/0件)	報道、論文等も含む (15/13件)
化学物質 (21/28件)	化学物質・汚染物質 (7件)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	4
	食品添加物 (1)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	農薬 (9)	0	1	0	5	1	0	0	2	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	器具・容器包装 (2)	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (21件)	0	2	1	6	5	1	0	2	0	4
微生物・プリオン・自然毒 (26/24件)	細菌 (5件)	0	0	0	0	3	0	0	0	0	2
	ウイルス (9)	0	1	0	1	3	0	0	0	0	4
	原虫・寄生虫 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	プリオン (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	植物性自然毒 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (2)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	動物性自然毒 (4)	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0
	その他 (3)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (26件)	4	1	0	4	9	0	1	0	0	7	
新食品等 (5/10件)	新食品 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	GMO (3)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	健康食品 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アレルギー (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (5件)	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2	
肥料・飼料等 (0/4件)	肥料 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他 (17/24件)	表示 (1件)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	栄養 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	放射性物質 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (15)	0	0	0	2	4	0	4	5	0	0
	論文情報 (1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計 (18件)	0	0	0	2	5	0	4	5	0	2	
海外の食中毒 (0/0件)	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(11月1日～11月14日収集分 70件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciiis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 米国政府説明責任局(GAO)、残留農薬監視計画の強化を勧告
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、抗菌性物質使用量及び薬剤耐性の減少が確認されたが、引き続き努力が必要であると発表
- ・ オランダ国立公衆衛生環境研究所(RIVM)、オランダにおける食品からのダイオキシンによる暴露に関する2014年の報告書を発表
- ・ Environmental Health Perspectives : 「米国コロラド州の住民の飲用水中の無機ヒ素の生涯にわたる暴露及び冠動脈性心疾患の関連」

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、貝類の衛生管理手法策定のためにデータ募集を行う旨を公表
- ・ 欧州疾病予防管理センター(ECDC)、ドイツにおける高病原性鳥インフルエンザ A(H5N8) 集団発生に関する緊急リスク評価書を公表
- ・ Eurosurveillance :
 - ・ 「全ゲノム配列が示す2002～2011年のオランダにおけるヒト及び家畜間のクロストリジウム・ディフィシルまん延の可能性」
 - ・ 「2013年アイルランドにおける冷凍ベリー類摂取に関連するA型肝炎集団感染－国際的集団発生との関連」
- ・ スペインバスク州食品安全機関(ELIKA)、海洋性生物毒に関するニュースレターを公表
- ・ ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、食品中のピロリジジナルカロイド類(PAs)に関するFAQの更新情報を公表

【新食品等】

- ・ 米国農務省動植物検疫局(APHIS)、アクリルアミド生成量が少ない遺伝子組換えバレイシヨの規制対象除外を告示

【その他】

- ・ nature (Vol. 514, No. 7524, 2014年10月30日)のコメ特集に掲載された食品安全関係記事の表題及びキーワード “Contamination: The toxic side of rice (pp. S62～63)” 他